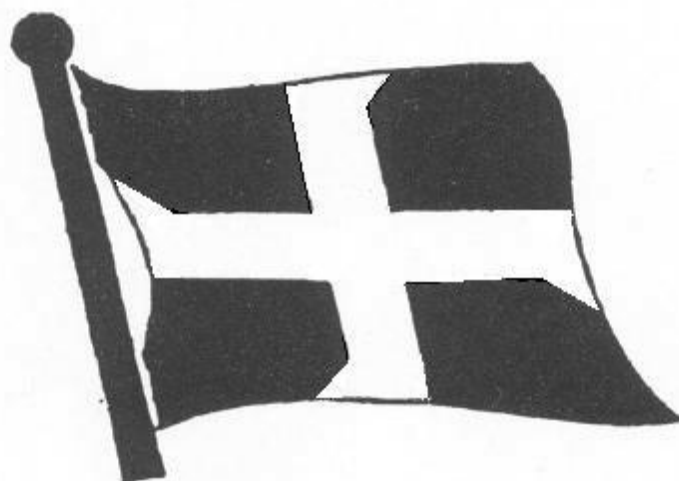


蒼穹NEWS

No.3

七大戦展望号

平成 29 年 7 月 22 日発行



～目次～

- 1 主将挨拶・女子主将挨拶・監督挨拶
- 2 七大戦競技日程
- 3 七大戦展望
- 4 記録会等の結果

1. 主将挨拶・女子主将挨拶・監督挨拶

主将挨拶

いよいよ7月29日から30日に、名古屋にて七大戦が開催されます。1日目には対校ハンマー投とオープン種目が知多にて、そして2日目は瑞穂にて行われます。目指すは京大初の男女総合優勝です。関西インカレや伊勢予選で味わった悔しさを乗り越え、チームで優勝を勝ち取るべく取り組んできた成果を、思う存分発揮したいと思っております。

男子は昨年、4年ぶりに優勝を逃しました。今年は名古屋大学、大阪大学との三つ巴が予想されており、激戦となることは間違いありません。1点が勝負を分ける、そんな手に汗握るような試合になるかと思われます。そのような試合では、全部員が1点への執念を見せ、強い気持ちを持つことが大切となります。勝ちたいという強い想いを胸に、熱い試合ができるこの舞台を楽しんで、最後まで全部員が自分の役割を全ういたします。そして京大が一番であることを証明し、優勝を掴み取ってまいります。

当日は猛暑が予想されますが、蒼穹会の皆様には是非とも名古屋まで足を運んでいただき、いつもと変わらぬ熱きご声援のほど、何卒よろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部主将 浅野 智司

女子主将挨拶

昨年の七大戦はチーム全員で優勝をめざして戦いましたが、あと一步力が及ばない種目が多く、4位という悔しい結果となりました。それから1年、優勝という目標を胸に、女子選手全員で日々努力を重ねて参りました。

当日は、たった一点が勝負を左右し、取りこぼしは決して許されない、厳しい戦いが予想されます。しかし、どの種目においても、各々が持てる力を存分に発揮し、着実に点数を積み重ねていけば、結果は必ずついてくると信じております。

本年は名古屋での開催となります。いつも応援にお越しいただいている蒼穹会の皆様はもちろんのこと、女子部卒の蒼穹会の皆様にもお越しいただけると幸いです。激励、ご声援のほど、よろしくお願い致します。

京都大学陸上競技部女子主将 岸本 絵理

監督挨拶

いよいよ七大戦が目の前に迫ってきました。今年は、7月29日、30日の2日間、1日目が知多運動公園陸上競技場、2日目がパロマ瑞穂スタジアムで、名古屋大学の主管で行われます。男女ともに優勝を狙って戦います。

男子は、名古屋大学、大阪大学、との近年稀にみる接戦が予想されます。その中で優勝を勝ち取るためには、いかに多く競り勝つことができるかが重要になってきます。それを左右するのは、チームの勢いであり、引いては4回生がどれだけ雄姿を見せチームを引っ張れるかです。

常に多種目出場し、チームを引っ張ってきてくれた主将の浅野(4)や澤(4)、安定した実力を持つ山西(4)を筆頭に、多くの選手が得点し優勝をつかみ取ってくれると信じています。

女子は、年々レベルが上がっており、100mや800mなどで非常に強い選手が台頭してきています。ただし、女子は男子以上にシビアな4点制です。各選手がベストの力を出すことができ、得点を積み重ねることができれば必ずや優勝を引き寄せることができるでしょう。

蒼穹会の皆様方。今年も暑い中での熱戦が予想されますが、ぜひとも会場までお越しいただき選手たちへの応援をお願い申し上げたいと思います。

京都大学陸上競技部監督 紀平 直人

2. 七大戦競技日程

7 / 29(土) オープンの部 (ハンマー投は対校) 知多陸上競技場

7 / 30(日) 対校の部 パロマ瑞穂スタジアム

第1日目 7月29日(土)					第2日目 7月30日(日)				
トラック競技					トラック競技				
時間	種目		種別	組数	時間	種目		種別	組-着+ α
9:00	男女	5000m	OP	1	9:30	女	100m	予	2-3+2
9:55	男	5000m		4	9:40	男	100m	予	3-2+2
11:20	女	400m		2	9:50	男	1500m	決	
11:30	男	400m		18	10:00	女	400m	予	
12:30	女	1500m		2	10:10	男	400m	予	3-2+2
12:45	男	1500m		12	10:30	男	400mH	予	3-2+2
14:15	女	100m		5	10:50	女	800m	決	
14:30	男	100m		36	11:00	男	800m	予	3-2+2
16:10	女	4×400mR		1	11:15	女	100m	決	2-3+2
16:15	男	4×400mR		8	11:20	男	100m	決	3-2+2
跳躍競技					11:35	男	110mH	予	3-2+2
10:00	男	走幅跳A	OP	29人	11:55	男	3000mSC	決	
10:00	男	走幅跳B		29人	12:20	男	4×100mR	決	
10:00	男	棒高跳		13人	12:30	男女	5000mW	決+OP	
11:30	男	走幅跳C		29人	13:15	男	400mH	決	
11:30	女	走幅跳		5人	13:25	男	400m	決	
投擲競技					13:35	男	200m	予	3-2+2
10:00	男	やり投A	OP	30人	13:50	女	3000m	決	
12:00	男	やり投B		23人	14:15	女	400m	決	
13:30	女	やり投		8人	14:30	男	800m	決	
15:00	男	ハンマー投	決	21人	14:55	男	110mH	決	
					15:20	男	200m	決	
					15:25	男	5000m	決	
					15:50	女	4×100mR	決	
					15:55	男	4×400mR	決	
					跳躍競技				
					10:00	男	三段跳	決	
					11:00	男	棒高跳	決	
					12:00	男	走高跳	決	
					12:00	女	走高跳	決	
					14:00	男	走幅跳	決	
					14:00	女	走幅跳	決	
					投擲競技				
					10:00	男	やり投	決	
					10:00	女	砲丸投	決	
					12:00	男	砲丸投	決	
					14:00	男	円盤投	決	

3. 七大戦展望

<短距離>

100m

澤 薫 (4) 10.76

庄司 溪 (4) 10.94

安藤 滉一 (3) 10.69

澤は7月に入ったところで怪我をするもなんとか間に合わせてくれた。SBでは安藤に並び一位となっており、二人での優勝争いが楽しみになる。庄司は100mへの出場を迷っていたが走るようになった。前後が詰まっており、飛びぬける可能性もあれば点が取れない可能性も高い。庄司が点を取れるかどうかはとても大切なポイントになる。安藤はランキング1位で臨む。堂々とした走りで1位を掴み取り、力を見せつけて欲しい。



100mではランキング1位の安藤(3)。次期主将として存在感を示したいところ。

200m

庄司 溪 (4) 22.09

澤 薫 (4) 記録なし

安藤 滉一 (3) 21.59

澤はチームの勝利のために幅跳びでの出場でなく200mを走ることを選んだ。200mの経験はないが、中盤からの伸びが非常に強いので200mでも十分に勝負できる。フィールドも兼ねるので疲労困憊だろうが、気持ちで走り切って欲しい。庄司は先日の県選で21秒台ランナーとなった。得点ボーダー上におり、100mと同じく庄司の結果は勝敗の鍵を握ることになる。安藤は事前ランキングでは東大の聲高に続き2位。相変わらず膝に痛みを抱えているが、それでも誰よりも練習を積んできた。100,200,400mの三冠に期待したい。

400m

小原 幹太 (2) 49.67

小谷 哲 (2) 49.37

浅井 良 (1) 49.47

400mには、小谷、小原、浅井が出場する。阪大佐藤の実力が抜けており、優勝が確実視されている。京大の中では小谷が最も勢いがあり、2位を狙える実力をつけている。浅井は高校時の自己記録ではランキング2位であり、どこまで上位にいけるか非常に楽しみである。また、小原は冬怪我に苦しんだが、最近かなり調子を上げているため、得点だけではなく上位争いに加わる走りをしたい。

110mH

田中 伸幸 (4) 15.15

福島 理 (3) 15.30

小野 貴裕 (2) 15.29

110mHのランキングは、上位3名が名大で4,5位が阪大東北大の1番手、6～8位が京大、9～12位が阪大東北大の

2,3 番手となっており、上位の大学に偏りがある。予選通過ラインは 15"3 台、得点ラインは 15"1 台と予想される。田中伸は、足首靭帯損傷の影響で満足のいく練習が積めていないが、最後の七大戦でチーフとして意地の走りを見せて欲しい。福島は、練習で比較的稳定感のある走りを見せながらも、今季は納得のいく記録をまだ残せていない。七大戦で自分の殻を破るような記録を出して、次期幹部としての今後の励みにしてもらいたい。小野はこの種目初めての七大戦出場となるが、初めての対校戦となる今年の京都インカレで自己記録を更新して勝負強さを見せてくれた。重圧を跳ね除け、予選から 14 秒台を出して着順での決勝進出に期待したい。まずは予選から確実に阪大東北大の 2,3 番手を下して 3 人で予選通過する事で、決勝で良い流れを作る事が非常に重要である。

400mH

広兼 浩二郎 (4) 55.75
五十嵐 隆皓 (3) 56.45
長谷川 隼 (1) 55.99

400mH は、上位 2 名の名大の選手が 50"前半の資格記録を持つのに加え 52"～54"台の選手もかなり多い。大会記録が 52"台であるので、七大戦史上最高レベルの戦いが予想される。決勝進出ラインは 54 秒台、得点ラインは 54 秒 0 付近が最低でも求められる。広兼は、1 回生の頃 54"1 という素晴らしい記録を出しながらも今日まで怪我に泣いてきた。4 回生の七大戦という集大成の舞台で、400mH のエースとして着順での予選通過を狙う。同じ組の名大小田(50"0)に惑わされず、落ち着いたレース運びをする事がポイントとなる。五十嵐は、専門は混成だが今回は七大戦のために 400mH に絞って練習している。資格記録上ではかなり苦しい戦いを強いられるが、レース展開で咄嗟の対応を求められるこの種

目で、混成選手ならではの器用さ、対応力に期待したい。長谷川は、受験のブランクがありながらも入部して 2 ヶ月程度で自己記録を更新しており、ハードル選手の中で最も勢いがある。七大戦という大舞台の雰囲気を楽しみながらも、セレクションで枠を勝ち取った勝負強さと日頃の練習での安定感を遺憾無く発揮して、当日ブレイクスルーを起こして決勝進出を果たしてほしい。

4×100mR

澤 薫 (4)
庄司 溪 (4)
安藤 滉一 (3)
加藤 寿昂 (1)
岡本 和也 (3)
林 聖也 (4)

加藤(寿)・安藤・庄司・澤を予定。単純なタイムの足し算はどこも僅差であり、どこが勝ってもおかしくない。リレーの勝敗はチームとして勝負全体の流れを大きく左右するので、必ず勝って勢いを付けたい。

4×400mR

加藤 陸至 (4)
眞杉 陸 (4)
小原 幹太 (2)
小谷 哲 (2)
田中 智也 (2)
浅井 良 (1)

400m を 1 日に複数本走ることになるため、400m の決勝が終わった時点でのベストメンバーで挑む。メンバー全員があらゆる準備をして最高のパフォーマンスをしたい。実力では名大が頭 1 つ抜け

ているが、過酷な日程であるため実力通りにはいかない。最終種目であり、勝負を決する可能性もあるため、短長一丸となつてとるべき順位をとることに尽力する。

女子 100m

川崎 仁美 (4) 13.51

小野 萌子 (3) 13.06

決勝には13秒前半、得点には12秒中盤が必要になる。川崎は西カレ頃に足を痛めて、まだ復帰とはいっていない。追参ながら12秒で走れる力はお持ち、万全の状態なら勝負に関わっていける。とにかく回復、復帰に全力を注いで当日を迎えて欲しい。小野は今シーズン短い距離に重点的に取り組んできた。決勝には進めそうだが得点は少し遠い位置にいる。女子の総合優勝にはここから得点するようなひっくり返しがいくつも必要なので、その一人となって欲しい。

女子 400m

小野 萌子 (3) 59.92

後藤 加奈 (2) 1.01.41

女子400mには、小野、後藤が出場する。2人とも決勝に残ってからが勝負となるだろう。小野はランキング4位であるが、以前からの目標である関カレA標準突破とともに表彰台を目指したい。後藤は得点圏からはやや離れているが、他大学の選手が複数種目を兼ねる中リレーと400mに絞れる利点を活かし、決勝の1本でベストパフォーマンスを期待する。

女子 4×100mR

川崎 仁美 (4)

小野 萌子 (3)

林 玲美 (3)

後藤 加奈 (2)

中野 水貴 (1)

花房 柚衣香 (1)

走順は川崎・小野・林・後藤を予定。資格記録上位三校は離れていて、4位を狙いにいくことになる。リレーは何が起きるか分からないので、最後まで諦めず走りきって欲しい。

<中距離>

800m

立花 孝裕 (4) 1.57.72

土屋 維智彦 (2) 1.54.94

木村 佑 (1) 1.52.27

1分52秒台の自己ベストを持つ選手が三人おり、ハイレベルな争いが期待される。その中で、昨年度の全国総体5位の実績を持ち入学した木村が一年生優勝を目指す。立花は今シーズン自己ベストを更新しており、成長著しい。初めてにして最後の七大戦でどのような走りを見せてくれるのか楽しみだ。土屋は長い故障を抱えながらの出場になるが、その中でも地道な練習を重ねてなんとか実力を維持できている。立花とともに決勝への切符を掴み取りたい。



期待のルーキー木村(1)。他大学に強烈な

インパクトを与えることができるか。

1500m

柴田 裕平 (4) 3.54.88

清原 陸 (1) 4.03.95

久田 雅人 (1) 4.00.65

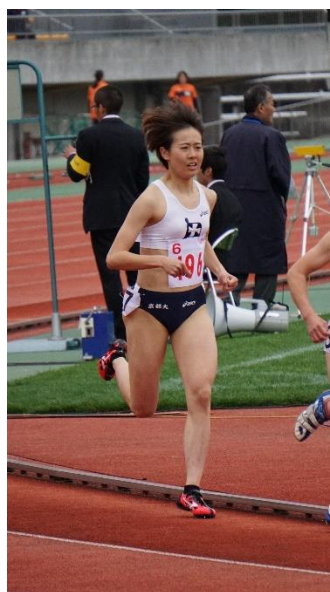
近藤(東京・3)を中心にレースが進むと思われるが、ランキングトップは九州大の一年生であり、どこまで実力を戻しているかによって波乱の展開があるかもしれない。柴田は今年も 5000m との二種目出場になる。連戦の疲れもある中だが、なんとしても得点を勝ち取りたい。清原、久田は一年生ながら春先から順調に練習を継続できており、調子は上々。高校時の実力から見ても十分に得点争いに絡むことができるだろう。一年生の勢いそのままに積極的なレースを展開して欲しい。

追記：正選手が久田から友田(4)へ変更されました。

女子 800m

岸本 絵理 (4) 2.17.07

昨年度優勝の高石(東京・3)を筆頭に 2 分 12 秒台が二人、2 分 13 秒台が一人とかなりハイレベルな争い。野尻(大阪・1)は多種目エントリーで、どの種目に出場するのか不明だが高校時に 2 分 13 秒台を記録しており怖い存在。岸本はタイムでは差がある状況だが、最後の七大戦、ランキング通りに終わるわけにはいかない。今まで 4 年間積み重ねた練習を信じて格上に勝負を挑んで欲しい。



女子主将として女子チームを引っ張ってきた岸本(4)。なんとしても優勝に貢献したいところ。

<長距離>

5000m

柴田 裕平 (4) 14.27.45

尾崎 拓 (4) 14.35.26

原田 麟太郎 (2) 15.21.37

近年京大が得意としている種目。東大近藤と京大尾崎、柴田の 3 人による優勝争いが予想される。柴田は 1500m に引き続き 2 種目目となるが昨年同様の優勝を、尾崎は 5000m 1 本に集中して今回こそ勝利を手に入れたい。原田は持ち前のしつこい粘り強さを存分に発揮し、例年過酷なコンディションとなるこの七大戦の舞台で 6 位入賞をもぎ取りたい。今年も種目優勝と二桁得点を取り、総合優勝を近づける。

3000mSC

山下 弘輝 (4) 10.00.31

土田 侑秀 (3) 9.52.26

渡邊 康介 (3) 記録なし

昨年とメンバーが完全に入れ替わった。土田は練習から非常に精度よく走れているため、実力通りに走り、勝負所を切り抜けることができれば表彰台も見えてくる。山下は4年目にして初めての七大戦出場となる。レースでの試合運びのうまさをいかし、しぶとく6位入賞を勝ち取ってきてほしい。渡邊はまだ3000mSCを初めて日が浅く、先日の初レースでは10.00.80のタイムだったが伸びしろは十分にある。伊勢予選メンバー争いにくい込むなど走力は確実についており、ここで得点をして成長した姿を見せてほしい。

5000mW

山西 利和 (4) 19.52.17

高野 圭太 (3) 21.47.69

5000mWには、4回生の山西と3回生の高野が出場する。山西は優勝、高野は3位を狙う。高野は東大の堀江、棟重あたりに勝てば3位が取れると考えられる。後半しっかり粘って競り勝ちたい。山西は練習も十分に盤石の状態。いつも通りのレースをする。

女子 3000m

岡本 萌巴美 (4) 10.29.52

増田 茄也子 (3) 10.24.72

総合優勝に向けてなんとしても点を稼ぎたいのがこの種目。増田は昨年先頭集団4人の中の争いで敗れてしまったが、今年は大量得点をしたいところ。冬季の故障の影響もありなかなか思うように走っていないが、地力は確実にあるので、自信を持って2位以上に挑戦してきてほしい。岡本も春以降は苦しんだが、この七大戦直前になって状態がかなり上向ってきている。本番での勝負強さは過去にも実証済みであり、最高学年としての意地、得点を期待したい。

<跳躍>

走幅跳

本居 和弘 (2) 6m91

三神 惇志 (2) 6m55

南井 航太 (2) 6m52

走幅跳には本居、三神、南井の3人が出場する。得点ラインは7mを越えることがほぼ確実であるため、厳しい戦いとなるだろう。しかし、本居は京カレで関カレ標準を切るなどここ一番の勝負での実績があるため、ベスト8に残ることも十分期待できる。三神、南井は得点に絡むことは難しいが、来年に向けてしっかりと経験を積んでほしい。

三段跳

伊東 悠希 (3) 14m29

三神 惇志 (2) 14m63

三段跳には伊東、三神が出場する。伊東は怪我が長引き、万全の体調ではないため、出場が危ぶまれるが、出場した折にはベスト8を目指して頑張ってもらいたい。三神は持ち記録では5位に位置しているが、4位も十分に狙える。走りの調子も良く、今回の大会で15mを跳ぶことも十分にあり得るので、ビッグジャンプに期待したい。

走高跳

竹田 風馬 (4) 1m95

五十嵐 隆皓 (3) 1m85

吉川 樹 (1) 1m89

男子走高跳には竹田、五十嵐、吉川が出場する。竹田は1m95ないしは2m00を跳ぶことができれば、6位入賞で得点も見えてくる。土壇場で関カレ出場を決めた1m95の跳躍のようなパフォーマンスをもう一度見せてほしい。吉川は今季1回目の試合となるが、調子も良く、ベスト更新が期待できる。五十嵐は多様目

出場になるが、混成の体力を活かしてしっかりと跳躍をしてほしい。

棒高跳

澤 薫 (4) 4m60

珍坂 涼太 (4) 4m30

平島 敬也 (2) 3m60

棒高跳には澤、珍坂、平島の3人が出場する。澤はボールの不調が続いているが、しっかりと4位を決めてからそれ以上の順位を狙ってほしい。珍坂は最近ベストを出し、流れに乗っている。上位陣の牙城を崩すことは難しいが、チャンスがあれば積極的に上の順位を狙うことが求められる。平島は得点こそ難しいが、3m80を跳ぶ実力は十分にあるのでベストに期待したい。

女子走高跳

林 玲美 (3) 1m63

女子走高跳には林が出場する。ランキングでは1位に位置するため、落ち着いて跳躍をしてほしい。西カレでもベストを更新しているので、順位だけでなく、記録も狙えるだろう。

<投擲>

砲丸投

浅野 智司 (4) 9m59

金子 溪人 (4) 記録なし

松井 そら (2) 8m49

男子砲丸投には浅野、金子、松井が出場する。専門種目に取り組む選手がおらず厳しい戦いが予想されるが、何とか一矢報いたい。トップ8には11m超が目安となり、その混戦から抜け出した選手が得点できるだろう。実習中にも徐々に記録を伸ばしてきた金子は、実習を終えた6月からは良い練習を積めており、大

幅な自己新にも期待を持てる。浅野は昨年の東大戦以来の試合となるが、持ち前のパワーと瞬発力を活かしていきたい。松井はこの冬で一回り身体を大きくしており、昨年とは見違える投擲を見せてくれるだろう。3選手とも砲丸投の試合経験は浅く、良くも悪くも申請記録は当てにならず、記録を大きく伸ばす可能性も秘めている。チャレンジャーの立場である以上、思い切った攻めの投擲で勝負したい。

円盤投

金子 溪人 (4) 記録なし

大橋 悟 (2) 40m74

平島 敬也 (2) 29m34

男子円盤投には金子、大橋、平島が出場する。関西ICで40m74を記録した大橋は、右肩の状態に不安はあるが、それでも2位は確保できる実力がある。42m06でランキングトップの楠(東北大)も故障があり、あわよくば一騎打ちに持ち込んで優勝を狙いたい。一昨年7位で得点に迫った金子はこの数ヶ月で急成長し、3週間前の自己新33m13はSBでのランキングでは4番。地元名古屋、慣れ親しんだ瑞穂のサークルで会心の投擲を見せ、得点争いを抜け出し表彰台を狙う。平島は混成の選手で円盤投の経験は浅いが、最近の練習では10選手がひしめく32m~33mの争いに割って入る可能性も感じられ、安定して30mを投げられる松井と正補交代となった。トップ8、得点のみを見据え、失敗を恐れずに思い切りの良い投げを披露したい。

ハンマー投

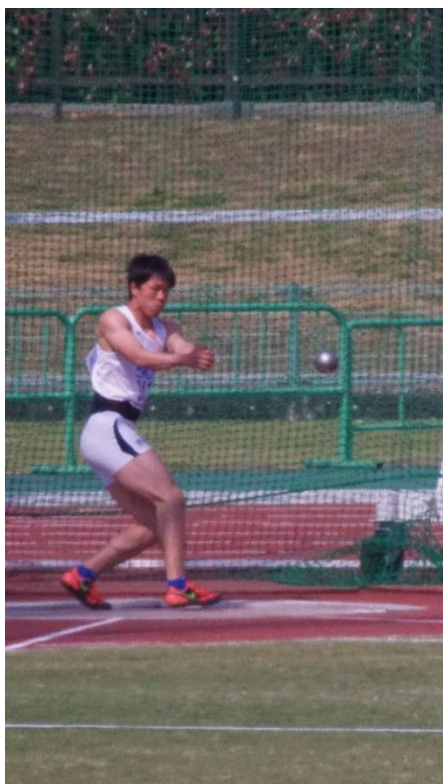
浅野 智司 (4) 43m13

大橋 悟 (2) 33m06

三谷 圭 (2) 24m40

男子ハンマー投には浅野、大橋、三谷

が出場する。浅野は今季の不調から脱してきており、45m は投げられそうだ。自己新を記録すれば優勝は間違いなく、優勝してこの種目の京大勢 3 連覇を果たす。3 週間前に三谷が 30m46 を記録したことで、大橋、三谷の 2 回生コンビは、39m 超の記録を持つ 5 選手に次ぐランキング 6 位と 7 位で七大戦に臨む。練習通りの投げをすればトップ 8 は間違いない。2 人ともポテンシャルは高く、練習から互いをライバル視して切磋琢磨できている。2 人で確実に 1 点をもぎ取るとともに、上位陣が崩れればさらに得点を稼ぎたい。ハンマー投は 1 日目に実施される唯一の対校種目だが、3 選手全員がトップ 8 に残って京大の強さを他大学に印象づけるとともに、良い流れをチームにもたらし。



主将の浅野(4)。関西インカレでは涙を流したが、最後の七大戦は優勝して笑顔で締めくくりたい。

やり投

浅野 智司 (4) 55m26

中山 奎吾 (3) 58m40

松井 そら (2) 48m44

男子やり投には浅野、中山、松井が出場する。総合優勝を争う名大、阪大と得点を取り合うことが予想され、重要な種目となるだろう。課題にしていた助走の改善に取り組んできた中山は、ようやくそれが形になりつつあり、大きく飛躍する可能性を秘める。浅野は右肘の故障により試合から離れているが、3 ヶ月かけてこの試合に向けて準備してきた。西田(名大)、栗林(名大)、野村(阪大)という 60m 超の記録を持つ選手を、2 人でどこまで崩すことができるか。安定感を考えても実力では大差はなく、十分に期待を持てる。松井は自己記録を更新してまずトップ 8 に残りたい。一発のある選手だけに、昨年の東大戦で見たような勝負強さで、ランキング上位の選手をどこまで倒すことができるか期待したい。

女子砲丸投

横山 優花 (3) 10m17

福井 優輝 (2) 8m21

優勝が期待される横山は、関西 IC 以降は徐々に砲丸投に練習をシフトしてきた。円盤投が専門であるが、優勝を争うであろう 10m 後半の持ち記録の 2 選手は混成選手であり、投擲選手として意地でも優勝を勝ち取りたい。果敢に 11m を狙う投擲を重ねてほしい。もう一枠は福井と中野で争っており、直前の記録会や練習の出来で決定する。一冬を越えて逞しくなった福井と、専門はやり投ながら高いポテンシャルを持つ中野、いずれの選手が出場してもトップ 8 には進出できるだろう。そのうえで食欲に一つでも上の順位を狙っていきたい。

4. 記録会等の結果

(2017/6/11～2017/7/21)

第87回堺市種目別優勝大会(金岡 6/11)

▼走幅跳

本居 和弘 6.82 -0.5

平成29年度岐阜県陸上競技選手権大会 (岐阜メモリアルセンター 6/24)

▼3000mSC

田中 仁 5位 9.46.27
山下 弘輝 11位 10.00.31

第63回岡山県陸上競技選手権大会(岡山 県陸上競技場 6/24)

▼110mH

黒瀬 慶 16.14 -0.9

第49回びわこ成蹊スポーツ大学記録会 (びわこフィールド 6/25)

男子

▼100m

加藤 寿昂 11.26 ±0.0
珍坂 涼太 11.41 +0.3 PB
坂口 雄太 11.81 +0.3
豊本 竜希 12.71 +0.7

▼400m

浅井 良 49.47 大学初
小原 幹太 49.78
田中 智也 50.30 CB
水野 廉也 51.39
豊本 竜希 56.83

▼800m

田中 達也 1.59.29

岡本 郁翔 1.59.76
川岸 亮平 2.05.54

▼1500m

土田 侑秀 4.03.71
清原 陸 4.03.95 大学初
久田 雅人 4.08.43 大学初
友田 浩平 4.14.32
平中 章貴 4.21.20
里美 音実 4.27.41
足立 涼 4.28.94
津吉 順平 4.40.45 大学初
中空 聡斗 4.47.42 大学初

▼400mH

長谷川 隼 55.99 大学初 PB
五十嵐 隆皓 57.21
平野 亘 58.11 大学初
平田 泰行 58.29
松井 そら 59.10
川崎 皓斗 59.22
中野 克哉 59.23 大学初

▼棒高跳

珍坂 涼太 4.3 PB
五十嵐 隆皓 3.6
平島 敬也 3.6 PB
金子 湊人 3.0 PB

▼走幅跳

三神 惇志 6.55 -0.2
南井 航太 6.35 -0.3

▼円盤投

金子 湊人 32.37 PB
平島 敬也 29.34 PB
松井 そら 28.59

▼やり投

松井 そら 43.54
藤田 歩 29.46 自身初

女子

▼100m
花房柚衣香 14.85 +0.3 大学初

▼200m
花房柚衣香 30.67 +0.4

▼円盤投
福井 優輝 21.15

▼砲丸投
福井 優輝 8.14

秩父宮賜杯第70回西日本学生陸上競技
対校選手権大会(広島広域公園 6/30
7/1,2)

男子

▼200m
安藤 滉一 予 22.06 +2.7
紀平 直人 予 22.20 +4.3
石田 真也 予 21.55 +3.1
準 21.90 +0.8

▼3000mSC
稲垣 達也 決 9.49.08

▼10000mW
大本 康平 決 47.04.83
田中 雄也 決 47.14.49
亀田 孝太郎 決 48.09.42

▼4×400mR
小谷-石田-安藤-庄司真 予 3.16.21

▼走幅跳
渡辺 祥 決6位 7.43 +2.8
公認 7.40 +0.7
松下 隼人 6.44 +1.6

女子

▼400m
小野 萌子 予 60.61

▼800m
岸本 絵理 予 2.21.40

▼400mH

川崎 仁美 予 66.93

▼3000mSC
岡本 萌巴美 夕決 12.28.65

▼走高跳
林 玲美 決 1.60

▼三段跳
広川 知佳 決 11.13 +0.8

▼円盤投
横山 優花 決 36.61

第72回茨城県陸上競技選手権大会(笠松
運動公園 6/30, 7/1,2)

▼800m
木村 佑 予 1.55.66
決5位 1.54.93

第85回大阪陸上競技選手権大会(ヤンマ
ースタジアム長居・ヤンマーフィール
ド長居 7/7, 8,9)

男子

▼100m
林 大祐 予 10.98 -0.1
石田 真也 予 10.74 -1.7
準 10.66 +0.3
決4位 10.62 +0.5

▼200m
紀平 直人 予 22.04 +0.3
岡本 和也 予 22.68 -0.2

▼400m
庄司 真 予 49.26
紀平 直人 予 48.59
準 49.32

▼800m
立花 孝裕 予 1.59.35
岡本 郁翔 予 2.07.11

▼走幅跳

石田 真也 決 6.88 +0.5

女子

▼走高跳

林 玲美 決 1.65 蒼穹新 PB

▼やり投

中野 水貴 決 37.95 蒼穹新 CB

男子オープンの部

▼200m

土屋 佑太 OP 21.78 -0.8

兵庫県選手権(ユニバー 7/8,9)

▼1500m

柴田 裕平 夕決 4.05.88

久田 雅人 夕決 4.11.53

和歌山県選手権(紀三井寺公園 7/8,9)

▼100m

加藤 寿昂 予 11.34 -1.8
準 11.34 -1.8

▼400m

小原 幹太 予 49.85
決5位 50.81

▼1500m

谷口 博紀 予 4.10.97

▼3000m

谷口 博紀 決8位 15.36.27

▼3000mSC

土田 侑秀 3位 9.38.18 PB

渡邊 康介 5位 10.00.70 大学初

山下 弘輝 7位 10.08.53

潮崎 羽 10.27.14大学初 PB

第76回滋賀県陸上競技選手権大会(皇子山 7/8,9)

男子

▼100m

岡本 和也 予 11.33 -0.3

珍坂 涼太 予 11.56 -1.4

澤 薫 予 10.88 -1.0

準 11.02 -2.0

▼200m

庄司 溪 予 22.12 ±0.0

準 21.99 +0.5 PB

決6位 22.11 -0.5

▼400m

田中 智也 予 50.85

準 50.40

決6位 50.64

▼800m

田中 達也 予 1.58.21

決6位 2.01.13

▼5000m

原田 麟太郎 夕決 15.39.58

相澤 航 夕決 16.06.13

▼110mH

小野 貴裕 予 15.99 -1.6

福島 理 予 15.87 -3.3

決7位 15.58 +1.8

▼400mH

中野 克哉 予 59.41

▼走幅跳

本居 和弘 決 6.46 ±0.0

▼ハンマー投

浅野 智司 決6位 41.38

三谷 圭 決 30.46 PB

大橋 悟 決 NM

女子

▼400m

後藤 加奈 予 62.34

決6位 63.47

第80回三重県陸上競技選手権大会(伊勢

7/8,9)

男子

▼5000m

稲垣 達也 決6位 15.25.39

▼3000mSC

稲垣 達也 決3位 9.36.90

女子

▼棒高跳

宮崎 伶菜 決 6位 2.6

▼走幅跳

宮崎 伶菜 決 NM ±0.0

第4回尼崎中長距離記録会 (ベイコム
7/14)

▼5000m

川井 拓哉 16.01.47

大前 晃一 16.29.06

第3回大阪体育大学中長距離競技会(浪
商学園陸上競技場 7/15)

男子

▼800m

田中 達也 1.58.88

平中 章貴 2.02.48 PB

▼1500m

清原 陸 4.02.14

友田 浩平 4.07.57

▼5000m

谷川 尚希 15.44.88

大下 拓真 16.42.42

糠谷 充孝 16.56.98

女子

▼1500m

上島 ほのか 5.19.71 大学初

第67回三大学対校陸上競技大会(旧三商

大戦 7/15)

男子オープンの部

▼100m

大和 祐己 12.33 +0.7

第72回国民体育大会石川県予選会(西武
緑地公園 7/15,16)

▼100m

加藤 寿昂 11.32 -3.2

第59回富山県陸上競技選手権大会(富山
県総合運動公園 7/15,16)

男子

▼110mH

吉川 広祐 予 16.15 +1.2

決7位 15.16 +0.9

女子

▼100m

菅野 紗希 予 13.45 +0.8

▼5000mW

高野 寛子 決 26.21.16

第77回愛知陸上競技選手権大会(瑞穂
7/15,17)

▼円盤投

金子 湊人 決 31.04

▼ハンマー投

若園 直樹 決 45.90

第71回新潟県陸上競技選手権大会(新潟
市陸上競技場 7/15,16,17)

▼三段跳

広川 知佳 決5位 10.89 -2.2

▼走幅跳

広川 知佳 決 NM

第72回京都陸上競技選手権大会(西京極
7/15,16)

男子

▼走幅跳

渡辺 祥 決 優勝 7.78 +0.1
蒼穹新PB

女子

▼100m

小野 萌子 予 13.57 -0.2

▼3000m

増田 茄也子 夕決 10.58.77



蒼穹ニュース 平成29年度 第3号
平成29年7月22日発行

発行所：京都大学体育会陸上競技部
編集者：潮崎羽・水野廉也・三谷圭（副務）
特別協力：秋本啓太・三田村侑紀・山内美佳（学連員）
大前晃一・糠谷充孝（記録係）・土田侑秀（HP 係）
写真担当：土屋維智彦・広川知佳・福井優輝

陸上競技部 HP	http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/
陸上競技部記録 HP	http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/kiroku/index.htm
関西学連 HP	http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm
メールアドレス	onyourmarks.136@gmail.com（水野）